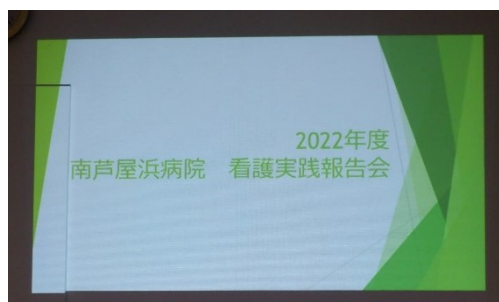
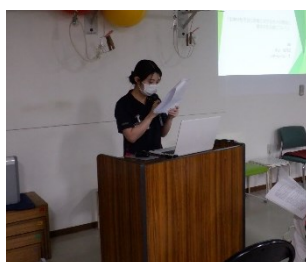


看護実践報告発表会

2023年1月26日（木）17：30～ 看護実践報告発表会を開催しました。



日々の看護実践の中から、年間を通して特に心に残った症例をあげ、看護の振り返りをしてもらいました。その中から今回は、外来・一般病棟・地域包括ケア病棟看護師より各2名ずつ、老健施設より看護師1名選抜し、特に良い看護が実践できたと思う症例の発表会を行いました。



病棟、老健施設からは、入院中に ADL（日常生活動作）の低下を招いた患者さまに対する看護や、在宅や施設に帰られる患者さまへの看護・介護介入、また外来からは在宅療養支援、多職種の連携など多岐にわたる内容での発表でした。



なかなか痛みが取れず、歩くことも困難。でも自宅に帰りたい・・・痛みがあることでリハビリも進まず、トイレ動作もままならず、辛い日々を過ごされている患者さまに寄り添い、精神的なフォローをさせて頂きました。在宅スタッフとも連携し、退院後の生活を見据えてリハビリを進めていきました。全身状態が悪い患者さまに対しては、治療ができるだけ苦痛にならないよう、身体的・精神的にも支えられるよう努力しました。

また、外来通院で確実に服薬してもらいたいけど・・・種類も多く御一人で服薬の管理をすることが難しい患者さまに対し、いろいろ試行錯誤しながら関わることによって、自己管理が可能になりました。



それぞれが、精一杯努力している姿が目に見えようでした。

皆さん、自分が行った看護実践を振り返るにあたり、もっとあんな風にしてあげれば良かった、患者さまの希望をかなえられて良かった・・・など、今後の希望や課題を個々に感じ取っていました。

発表してくれた皆さんに、与倉看護部長より記念品の贈呈です。



～看護部長より一言～

日々の看護実践において、自分自身の考えや実践した看護についてフィードバックでき、またみんなで共有できた報告会でした。今後も患者さまに良質な看護を実践できるよう、皆で切磋琢磨していきたいと思います。



名前入りのボールペンを記念品として発表者に渡されました。

コロナ過で、院内の集合研修が長期間行われていませんでしたが、前回の院内研修後、徐々に開催回数を増やし、今回久しぶりに看護実践報告会を開催することができました。

